

境港市議会



議長 荒井 秀行

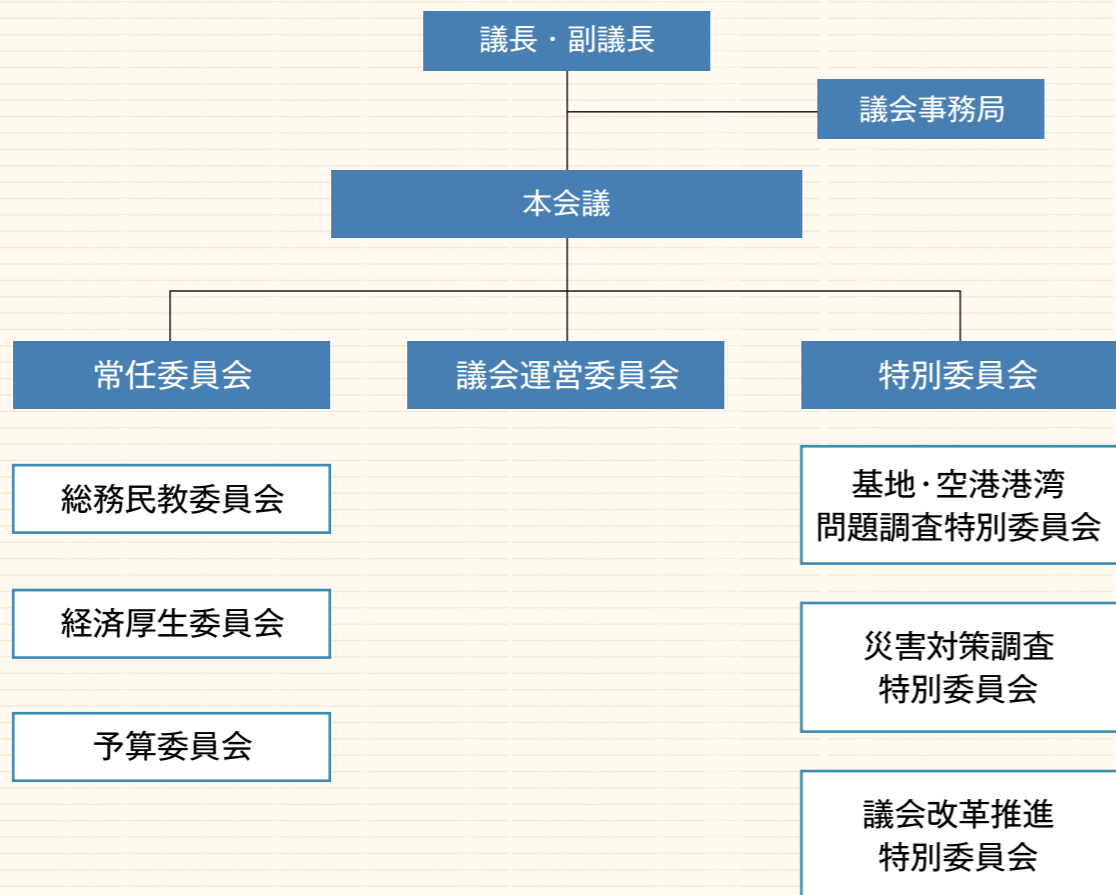


副議長 田口 俊介



市民の代表として15名の議員で構成され、年4回の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。

議会構成図



境港市の概要

長さ約20kmの大砂州である「弓浜半島」の北端に位置し、三方が海に開けています。秀峰「大山」を背景に、風光明媚な白砂青松の海岸線を有しています。昭和29年に境町が周辺の渡村、外江町、上道村、余子村、中浜村の5か町村と合併して「境港町」になり、昭和31年4月に「境港市」として市政を施行しました。



[位置] 北緯 35度30分
東経 133度14分
[面積] 29.11平方キロメートル

シンボル (市章/市の木/市の花)



市章(昭和31年4月24日議決)
さかいみなと市の「さ」を港の波頭型に図案化したもので、島根半島と弓浜半島の先端に光る市の発展性を象徴しています。



市の木「くろまつ」
(昭和45年11月3日制定)



市の花「きく」
(昭和45年11月3日制定)

市民憲章

昭和45年11月3日制定

- 一、健康で楽しく働き
明るい家庭をつくりましょう
- 一、互いに助け合い
だれにも親切にしましょう
- 一、きまりを守り公共の物を
たいせつにしましょう
- 一、自然の美を生きし
住みよい環境をつくりましょう
- 一、豊かな心を養い
文化の向上につとめましょう

市の歌

昭和58年9月8日制定

作詞 岩谷時子
作曲 足羽 章

弓が浜白い 渚に
浜ひるがお 風とたわむれ
美しい 自然を友に
今日も又 人は働く
海の幸 大地の恵み
栄えゆく 栄えゆく
われらの境港市

大山の峰を はるかに
陽にかがやく 銀の中海
さわやかに 未来へ展く
産業は 生きる喜び
港には 異国の船が
いつも来る いつも来る
われらの境港市

潮風に耐える 黒松
空にかおる 菊の気高さ
ゆたかなる 心がつくる
文化こそ 市の幸福
学び舎の わかとり歌い
愛がある愛がある
われらの境港市

